

令和4年度 事務事業評価表

8974
一般会計

事務事業名	地域歴史資料整理・保存事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和46年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
個人などが所蔵する地域の歴史的資料		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）	
	事業費	1,224	1,747	1,922	
	人件費	3,723	4,170	1,489	
目 的	総事業費	4,947	5,917	3,411	
地域の歴史的資料を市民共通の財産として将来にわたり引き継ぐとともに、活用可能な状態とします。	5年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金	0			
	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	0			
	一般財源	1,922			
手段、手法【実施手法：直営】	合 計 1,922				
・中性紙の封筒・箱に収納するとともに、目録を整備します。					
・保存と活用のためマイクロフィルムなどへ媒体変換（複製作成）します。					
・歴史的資料が欠けている分野と時期については、資料を補完するため、聞き取り調査を実施します。					
成 果（効果・予測）					
・地域の歴史資料を未来へ継承することができます。					
・市域の歴史資産の概要が把握され、活用可能となります。					
・地域の歴史を調べようとする者にとって、資料活用が可能となります。					
課 題					
・個人が所蔵する資料（昭和48年頃に近世文書を主な対象として実施した悉皆調査時に簡単な資料整理を行ったもの）について、今後の長期保存を目的とした再整理作業を実施する必要があります。					
・個人が所蔵する近・現代資料についても、資料保存や活用についての相談や依頼があり、それらについても調査・保存・整理作業を実施する必要があります。					
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	マイクロフィルム撮影コマ数		単位	コマ
	内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	4,000	4,000	4,000
		実 績	3,462	3,852	---
活動指標 2	名称	製本数		単位	冊
	内容説明	各資料を保存のため製本した冊数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	30	30	30
		実 績	30	35	---
活動指標 3	名称	史料の記録作業等件数		単位	件
	内容説明	記録と保存作業（整理・目録化・点検・分類）を行った件数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	300	200	300
		実 績	123	350	---
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
		実 績			---

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	各家が所蔵している資料の整理・目録化を計画的に進めます。また、資料の解読作業および資料の複製を行い、資料利用の道を開きます。毎年一定の予算により一定量の整理を継続的に進めるとともに、資料の媒体変換も予算に応じ、着実に進めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、地域の歴史的資料を市民共有の財産として保存、活用するものであり、個人が所蔵している歴史的価値の高い資料の散逸・廃棄を避けるため、今後も継続的に市が関与する必要性はあると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	本事業では、歴史資料の目録を整備するとともに、資料の内容や状態、利用の状況等に応じ、適切な方法で保存を行っており、これを継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業の経費は、歴史資料整理に係る謝礼、マイクロフィルム撮影及びCD作成費などとなっており、その額については適正な水準で予算執行しています。また、人件費は、資料を補完する聞き取り調査や所有者からの相談等に対応したものであり、必要最小限の費用となっています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	地域の歴史資料は市民共有の財産であり、受益・負担は公平です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	地域の歴史的資料の保存・活用に取り組むことで、SDGsの住み続けられるまちに必要な不可欠な技術・経験を伝えることができると考えます。

令和4年度 事務事業評価表

9618
一般会計

事務事業名	文化財普及啓発事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	564	522	654
	人件費	2,105	1,797	1,828
目 的	総事業費	2,669	2,319	2,482
市民に身近な文化財を知ってもらうことで、郷土意識を高めます。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		654
		合 計		654

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	文化財愛護講座の開催数		単位	回
	内容説明	文化財愛護講座の回数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	1	1	1
	実 績	1	1	---	
活動指標 2	名称	文化財防火デーの消防訓練実施回数		単位	回
	内容説明	郷土民家園で実施する消防訓練の回数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	1	1	1
	実 績	1	1	---	
活動指標 3	名称	文化財案内板の維持管理件数		単位	基
	内容説明	維持管理している案内板、標柱の件数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	82	82	82
	実 績	82	82	---	
活動指標 4	名称	博物館実習修了者数		単位	人
	内容説明	所定の実習を修了した実習生数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	3	3	3
	実 績	3	3	---	

4. 今後の方針等				
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続
	4年度 I：現状のまま継続			
文化財愛護講座および消防訓練等を継続的に実施していくほか、文化財案内板等の修繕は経年劣化の著しいものから計画的に行います。文化財愛護講座や各種行事の開催案内などは、ホームページや広報やまなどの媒体を用いて、広く市民へ周知していきます。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	2年度	3年度	4年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、郷土の歴史と文化への愛着と理解を深めるために重要な役割を果たしており、民間の活動と競合するものではないことから、市が実施すべき事業として妥当性が高いと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	2年度	3年度	4年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	文化財愛護講座の開催やホームページでの情報発信など、様々な方法で文化財への理解の深化を図っており、今後も市民に評価されるような企画を継続していくことで、事業の意図する成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業で設置している文化財案内板は、経費を可能なかぎり抑えるため、計画的かつ効率的に修繕を行っています。人件費については、普及啓発イベントの運営、文化財情報の発信のために要したもので、必要最小限の費用となっています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民共有の財産である文化財を理解し次世代に継承するための事業であり、受益・負担は適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	2年度	3年度	4年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	事業への参加方法や周知方法を工夫するなど、事業実施にあたって社会的配慮を十分に行っています。

令和4年度 事務事業評価表

8973
一般会計

事務事業名	歴史的公文書収集整理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薰り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	公文書館法(昭和63年6月1日施行)		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了(予定)年度		事業期間
	昭和56年度			設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象	総事業費 (単位:千円)					
大和市の行政機関、行政委員会などの保存年限満了公文書(歴史的公文書)		3年度(決算額)	4年度(決算額)	5年度(予算額)		
	事業費	2,635	2,819	3,001		
	人件費	3,723	4,914	2,234		
目 的	総事業費	6,358	7,733	5,235		
歴史的公文書を収集・保管し、市民へ情報提供可能な状態とします。	5年度事業費(予算額)財源内訳					
	国支出金	0				
	県支出金	0				
	市債	0				
	その他	0				
	一般財源	3,001				
	合 計	3,001				
手段、手法【実施手法:直営】	3. 活動内容					
・廃棄される公文書のなかから歴史的な価値のある記録を選別・収集し、整理・目録化を行い、保存します。 ・行政刊行物を収集・保存します。 ・歴史的公文書のうち必要な資料については媒体変換(複製作成)を行います。	活動指標1	名称	歴史的公文書の選別実施量		単位	箱数
		内容説明	選別作業の対象とした廃棄公文書の量(文書保存箱数)			
		指標値		3年度	4年度(当該年度)	5年度
			予 定	100	100	100
成 果(効果・予測)		実 績	128	68	---	
歴史的公文書が市民共有の知的資源として将来にわたり引き継がれます。あわせて、これまでの行政活動について市民へ説明する責務を果たすことができます。	活動指標2	名称	マイクロフィルム化処理のコマ数		単位	コマ数
		内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数			
		指標値		3年度	4年度(当該年度)	5年度
			予 定	2,000	2,000	2,000
	実 績	1,600	1,926	---		
歴史的公文書の効率的な整理手法を検討するとともに、これらを保管する書庫や閲覧スペースの確保について検討を継続する必要があります。	活動指標3	名称	整理済みの資料数(累計)		単位	箱
		内容説明	整理済みの資料を収納した保存箱数の累計数			
		指標値		3年度	4年度(当該年度)	5年度
			予 定	1,620	1,740	1,990
	実 績	1,599	1,889	---		
今後の方針等	活動指標4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		3年度	4年度(当該年度)	5年度
			予 定			
	実 績			---		

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I:現状のまま継続	3年度	I:現状のまま継続	4年度	I:現状のまま継続
	収集した資料の整理作業を継続して進めていきます。					

令和4年度 事務事業評価表

8975
一般会計

事務事業名	大和州市史編集発刊事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和46年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	3,834	5,961	1,533
	人件費	15,186	10,273	8,936
目 的	総事業費	19,020	16,234	10,469
市域の歴史についての基礎的な資料・記録・資料評価に関する歴史情報を提供し、市民が地域の歴史探求を行う際の情報提供を行います。 手段、手法【実施手法：直営】 ・専門家による市域の歴史事象に関する論文等を掲載した『大和市史研究』を隔年で発行します。 ・市域の歴史資料について解説を加えた『大和市史資料叢書』を発行します。 ・令和4年度に大和市域の災害の歴史についてまとめた『大和市の災害史』を発行します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		1,533
	合 計		1,533	

3. 活動内容					
活動指標1	名称	『大和市史研究』発行回数		単位	回
	内容説明	『大和市史研究』は隔年で発行しています。			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	0	1	0
	実 績	0	1	---	
活動指標2	名称	『大和市史資料叢書』発行回数		単位	回
	内容説明	『大和市史資料叢書』は隔年で発行しています。			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	1	0	1
	実 績	1	0	---	
活動指標3	名称	『大和市の災害史』発行回数		単位	回
	内容説明	『大和市の災害史』は令和4年度に発行します。			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	0	1	0
	実 績	0	1	---	
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	歴史情報の提供について、若年層から高齢者までの幅広い年代の歴史探求の需要を満たせるよう、引き続き継続していきます。 令和4年度に大和市域の災害の歴史についてまとめた『大和市の災害史』を発行しました。					

令和4年度 事務事業評価表

9613
一般会計

事務事業名	文化財保護管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
			設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	大和市内の文化財			
目 的	総事業費	(単位：千円)		
		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	236	281	1,027
	人件費	1,191	1,191	745
総事業費	1,427	1,472	1,772	
手段、手法【実施手法：直営】	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	80		
	一般財源	947		
		合 計	1,027	
文化財保護に関する事業を円滑に行います。				
<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護に係る庶務事務を行います。 県内文化財保護部局との連絡調整を行います。 文化財調査報告書の販売を管理します。 				

3. 活動内容					
活動指標1	名称	報告書販売数	単位	冊	
	内容説明	年間の販売冊数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	200	200	200
	実 績	225	135	---	
活動指標2	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	特にありません。				
成果（効果・予測）	<ul style="list-style-type: none"> 各種文化財保護業務が円滑に行われます。 県内文化財保護部局との連携が円滑に行われます。 報告書の販売が適切に行われます。 				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続
	4年度	I：現状のまま継続		
文化財保護に関わる事務全体を円滑に進めるための基礎となっており、今後も継続していきます。				

令和4年度 事務事業評価表

9614
一般会計

事務事業名	文化財保護審議会等運営事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和41年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市内の文化財、指定重要文化財		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	388	438	441
	人件費	744	1,489	1,489
目 的	総事業費	1,132	1,927	1,930
市内の文化財、指定重要文化財の管理を適切に行います。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		441
		合 計		441

3. 活動内容					
活動指標1	名称	市指定重要文化財指定件数		単位	件
	内容説明	所有者等の申請後、現地等での調査を経て、必要の都度指定			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	32	32	32
	実 績	32	32	---	
活動指標2	名称	審議会開催数		単位	回
	内容説明	指定管理運営状況の評価や指定候補文化財の調査状況の審議等			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	2	2	2
	実 績	1	2	---	
活動指標3	名称	巡回調査件数		単位	件
	内容説明	文化財保護指導委員による巡回件数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	52	52	52
	実 績	52	52	---	
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	大和市にとって重要な文化財の指定、指定文化財と文化財案内板の巡回調査は、文化財保護に必要な基礎的業務であり、今後も現状のまま進めていきます。					

令和4年度 事務事業評価表

9615
一般会計

事務事業名	埋蔵文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法		
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
		神奈川県文化財保護条例		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和35年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市内の周知の埋蔵文化財包蔵地で開発行為等の事業を行う個人・事業者等	3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）		
	事業費	7,897	8,581	8,159	
	人件費	6,551	12,955	10,426	
目 的	総事業費	14,448	21,536	18,585	
市内に存在する埋蔵文化財保護のため、開発行為等で発掘される埋蔵文化財を記録・保存します。	5年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金	2,000			
	県支出金	666			
	市債	0			
	その他	0			
	一般財源	5,493			
	合 計	8,159			
手段、手法【実施手法：直営】	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法にもとづく埋蔵文化財関係届出書類の受理・送付を行うとともに現状調査及び事業者との協議を行います（県委譲事務）。 遺跡地図を作製し、事業者等が閲覧できるように周知します。 発掘調査を実施し、出土物の資料整理、報告書の刊行をします。 石器・土器などを分類整理し閲覧・活用できるようにします。 				
成 果（効果・予測）	<ul style="list-style-type: none"> 周知の埋蔵文化財について、開発事業者や土地所有者などの協力を受け、保護措置を講ずる機会を確保することができ、県や事業者などとの調整を円滑に進めることができるようになります。 消滅する遺跡の記録を作成し、市民が活用できる機会を確保することができます。 また、保管遺物の管理がしやすくなり、利用者への利便を図ることができます。 				
課 題	埋蔵文化財包蔵地に関する問い合わせが多くあることから、効果的な情報提供について検討が必要です。				
3. 活動内容	活動指標 1	名称	法第92条、第93条、第94条関係事務件数	単位	件
	活動指標 1	内容説明	民間事業者・国・地方公共団体が行う開発行為に伴う手続き		
		指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度
			予 定	100	100
	実 績	184	153	---	
	活動指標 2	名称	発掘調査件数	単位	件
		内容説明	市直営調査の件数		
		指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度
	予 定		15	15	15
	実 績	23	18	---	
	活動指標 3	名称	埋蔵文化財協議件数	単位	件
		内容説明	埋蔵文化財包蔵地範囲確認、遺跡取扱い協議等の件数		
指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
	予 定	1,200	1,200	1,000	
実 績	1,077	940	---		
活動指標 4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
予 定					
実 績			---		

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	市地図情報サービス等で埋蔵文化財包蔵地を周知し、埋蔵文化財の各種届出に必要な情報提供、指定文化財の情報を提供します。また、開発に関する照会・協議に対応し、発掘調査についても理解をいただきながら業務を進めていきます。					

令和4年度 事務事業評価表

9616
一般会計

事務事業名	民俗文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	民俗文化財			
目 的	総事業費	(単位：千円)		
		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	780	722	782
	人件費	1,489	1,489	1,489
総事業費	2,269	2,211	2,271	
手段、手法【実施手法：直営】	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			782
合 計			782	

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	民具資料収集件数		単位	件
	内容説明	民具資料の寄付件数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	3	3	3
実 績	1	3	---		
活動指標 2	名称	民具資料利用件数		単位	件
	内容説明	展示や授業等での活用のために利用した件数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	8	8	8
実 績	7	7	---		
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
実 績			---		

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	収集している民具資料の記録および民俗芸能・行事等の伝承者からの聞き取り調査を実施しています。計画的に毎年少しずつ調査を行うことが大切で、集積したデータなどを記録保存し、調査成果を市民に提供していきます。					

令和4年度 事務事業評価表

9617
一般会計

事務事業名	史跡・天然記念物保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和38年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
史跡・天然記念物		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	554	543	2,839
	人件費	1,489	1,489	1,489
目 的	総事業費	2,043	2,032	4,328
市内に生息していた動物、植物、昆虫類の実物標本の適正な保存管理を行います。また、県・市指定天然記念物の樹木を管理します。 手段、手法【実施手法：直営】 実物標本は、つる舞の里歴史資料館で保管しています。市指定天然記念物は損害賠償責任保険に加入し、風水害等の自然災害時に巡視を行います。県指定天然記念物については、土地所有者と賃貸借契約を締結し、日常の維持管理等の事業を市が実施します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		2,839
	合 計		2,839	

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	天然記念物管理件数		単位	件
	内容説明	ケヤキ2本、タブノキ、ハルニレ、シラカシ林			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	5	5	5
		実 績	5	5	---
活動指標 2	名称	標本管理件数		単位	件
	内容説明	昆虫標本、植物標本			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	2	2	2
		実 績	2	2	---
活動指標 3	名称	樹木診断		単位	件
	内容説明	樹木医による天然記念物（樹木）の樹木診断（年1本）			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	1	1	2
		実 績	1	2	---
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	・風水害等の自然災害時において、指定文化財の状況把握を含めた迅速な対応が求められます。 ・天然記念物の枯死や虫食い等による落枝や倒木の兆候が見られた際には、緊急対応が求められます。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	市指定天然記念物については、所有者と連絡を取り合い専門家のアドバイスを得て、良好な状態で樹木が生育できるようにしていきます。植物・昆虫標本についても適切な保存を継続します。					

令和4年度 事務事業評価表

9619
一般会計

事務事業名	指定文化財保護支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和38年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	指定文化財所有者			
目 的	総事業費	(単位：千円)		
		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
手段、手法【実施手法：直営】	事業費	250	290	290
	人件費	744	744	745
成 果（効果・予測）	総事業費	994	1,034	1,035
	5年度事業費（予算額）財源内訳			
管理者へ補助金を交付します。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			290
	合 計			290

3. 活動内容						
活動指標1	名称	補助金交付件数			単位	件
	内容説明	市指定重要文化財の維持管理補助金交付件数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	25	25	25	
		実 績	23	23	---	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			---	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			---	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
		実 績			---	
課 題	指定文化財については、継続的な保護支援が必要です。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続		3年度	I：現状のまま継続	
	引き続き指定文化財の管理に対する補助金を交付していきます。					

令和4年度 事務事業評価表

9620
一般会計

事務事業名	郷土民家園管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成06年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	郷土民家園			
目 的	総事業費	(単位：千円)		
		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
手段、手法【実施手法：指定管理】	事業費	10,289	10,762	10,208
	人件費	744	744	745
・郷土民家園管理運営事業を指定管理者に委ねて実施します。	総事業費	11,033	11,506	10,953
	5年度事業費（予算額）財源内訳			
市指定文化財である郷土民家園施設を適切に維持管理します。		国支出金	0	
		県支出金	0	
		市債	0	
		その他	0	
		一般財源	10,208	
		合 計	10,208	

3. 活動内容					
活動指標1	名称	郷土民家園の入館者数		単位	人
	内容説明	園内の見学者数(自動カウンター)			
	指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	55,000	55,000	55,000
実 績	42,529	34,967	---		
活動指標2	名称	事業実施件数		単位	件
	内容説明	普及啓発事業の実施件数			
	指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	30	30	30
実 績	19	35	---		
活動指標3	名称	行事参加者数		単位	人
	内容説明	園内で行った事業への参加者数			
	指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	13,000	13,000	13,000
実 績	9,662	11,062	---		
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定			
実 績			---		
課 題	経年劣化した施設・設備について計画的な修繕が必要です。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	指定管理者による管理・運営を継続します。また、指定管理者との連絡調整及び市が実施する施設修繕を適切に実施します。					

令和4年度 事務事業評価表

9621
一般会計

事務事業名	つる舞の里歴史資料館維持管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成10年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
つる舞の里歴史資料館		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	5,945	5,556	6,383
	人件費	4,518	3,902	3,994
目 的	総事業費	10,463	9,458	10,377
施設を適切に維持管理します。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 施設の日常的な維持・管理事務を行います。		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		6,383
		合 計		6,383

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	運営管理施設数			単位	件
	内容説明	維持管理施設の数				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定	1	1	1	
	実 績	1	1	---		
成 果（効果・予測）	市民が自由に入館し、展示物を観覧できる環境を維持します。					
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	資料保存環境を維持するため、施設・設備の計画的な修繕が必要です。					
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度	
		予 定				
	実 績			---		

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続		3年度	I：現状のまま継続	
	4年度 I：現状のまま継続 施設の老朽化に伴い、修繕を始めとする必要な維持管理に努めるとともに、資料保存・資料見学・調査研究の機能を有する施設として、管理運営を進めていきます。					

令和4年度 事務事業評価表

9622
一般会計

事務事業名	つる舞の里歴史資料館運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成10年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）	
	事業費	2,982	2,586	2,890	
	人件費	5,134	5,390	5,484	
目 的	総事業費	8,116	7,976	8,374	
市民が気軽に郷土の身近な文化財に触れることができ、歴史的な探究心に応えられる機会を提供します。	5年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】 ・市北部の歴史資料を中心に調査・収集・展示公開するとともに、多様な文化財や歴史を紹介する企画展示、コーナー展示等を実施します。	国支出金	0			
	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	0			
	一般財源	2,890			
	合 計	2,890			
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	利用者数	単位	人	
	内容説明	当年度利用者数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	5,000	5,000	5,000
		実 績	3,856	3,605	---
活動指標 2	名称	企画展示回数	単位	回	
	内容説明	企画展及び三館合同企画展			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	3	3	3
		実 績	3	3	---
活動指標 3	名称	企画展入場者数	単位	人	
	内容説明	企画展及び三館合同企画展の入場者数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	1,800	1,800	1,800
		実 績	2,681	1,226	---
活動指標 4	名称	コーナー展示回数	単位	回	
	内容説明	年間実施のコーナー展示開催回数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	0	3	3
		実 績	3	2	---
課 題	市民に利用してもらうために、魅力的な展示や事業を企画していく必要があります。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続
	4年度	I：現状のまま継続		
地域での歴史資料保存という役目を果たしながら、常設展を継続し、企画展や季節ごとのコーナー展示などを行い郷土愛を醸成するための場となるような事業を行っていきます。企画展の実施内容や事前の宣伝等に関して引き続き工夫します。				

令和4年度 事務事業評価表

9625
一般会計

事務事業名	有形文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薰り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）	
	事業費	353	353	205	
	人件費	1,489	1,489	1,489	
目 的	総事業費	1,842	1,842	1,694	
有形文化財を適切に保存します。	5年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】 ・古文書、その外の歴史資料の情報を整理して、データベースを作製します。 ・調査記録は順に文化財調査報告書として刊行します。	国支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			205	
	合 計			205	
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	歴史資料調査件数		単位	件
	内容説明	歴史資料の調査、整理作業の件数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	2	2	2
	実 績	2	1	---	
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	有形文化財について順次調査を行い、記録保存するとともに、将来にわたり引き継いでいく必要があります。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	古文書・工芸品・建造物等の有形文化財については、劣化、散逸の可能性がありますが、今後も継続して巡視、調査、記録しこれらの資料を市民共有の財産として将来へ継承していきます。					

令和4年度 事務事業評価表

9626
一般会計

事務事業名	無形文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）
	事業費	614	421	544
	人件費	1,489	1,489	1,489
目 的	総事業費	2,103	1,910	2,033
伝承者の高齢化などにより、失われつつある無形民俗文化財を調査し、映像で記録・保存し、市民が活用できるようにします。	5年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	544		
手段、手法【実施手法：直営】	合 計 544			
市内に残る無形民俗文化財を調査し、その様子をビデオ映像として収録し、映像記録として保存を図ります。また映像を作品として編集し、市民に公開できるようにします。				
成 果（効果・予測）	伝承者の高齢化により消滅が危惧される無形民俗文化財が、映像記録として保存されます。また、編集作品は市民が閲覧し、後継者育成のために活用することができます。			
課 題	市内の無形民俗文化財は社会生活が変化するなかで消滅しつつあります。また、伝承者は高齢であることが多く、早急に記録していく必要があります。映像の保存について、記録媒体や方法が年々変化していくので、その方法について検討していくことが必要です。			
	活動指標 1	名称	撮影・編集件数	単位 件
	内容説明	映像記録を撮影または編集した件数		
	指標値		3年度	4年度（当該年度）
	予 定	1	1	1
	実 績	1	1	---
活動指標 2	名称	企画・調査件数	単位 件	
内容説明	映像記録制作に向けた企画・調査の実施件数			
指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
	予 定	1	1	1
	実 績	1	1	---
活動指標 3	名称		単位	
内容説明				
指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
	予 定			
	実 績			---
活動指標 4	名称		単位	
内容説明				
指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
	予 定			
	実 績			---

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	社会生活の変化のなかで失われつつある無形民俗文化財を今後も映像として記録保存し、蓄積した映像記録を有効に市民に提供できるよう、映像作品を作成します。また、映像作品は無形民俗文化財の後継者などへの貸し出しや、普及啓発のために活用していただきます。					

令和4年度 事務事業評価表

9627
一般会計

事務事業名	文化財保管施設維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和56年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
文化財保管施設		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）	
	事業費	992	1,110	1,420	
	人件費	744	744	745	
目 的	総事業費	1,736	1,854	2,165	
市が所有・管理する文化財を施設に収蔵し適切に保管します。また、資料整理の拠点として活用します。	5年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金	0	0	0
手段、手法【実施手法：直営】 施設の維持管理を行います。		県支出金	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	1,420	1,420	1,420
		合 計	1,420	1,420	1,420
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	維持管理施設棟数		単位	件
	内容説明	維持管理施設棟数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	2	2	2
	実 績	2	2	---	
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	経年劣化した施設・設備の計画的な修繕が必要です。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	適切な維持管理を行っていきます。					

令和4年度 事務事業評価表

9980
一般会計

事務事業名	下鶴間ふるさと館維持管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成17年度		設定無し	

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		3年度（決算額）	4年度（決算額）	5年度（予算額）	
	事業費	4,114	4,440	5,106	
	人件費	5,262	4,338	4,401	
目 的	総事業費	9,376	8,778	9,507	
市民が地域史を学べたり、昔の暮らしに親しめるようにします。	5年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		59	
		一般財源		5,047	
		合 計		5,106	
手段、手法【実施手法：直営】	現地に復原された指定重要文化財の旧小倉家住宅母屋と土蔵を適切に管理するとともに、市民に一般公開します。				
3. 活動内容					
活動指標1	名称	運営管理施設数		単位	棟
	内容説明	維持管理施設の数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	3	3	3
実 績	3	3	---		
成 果（効果・予測）	市指定重要文化財の建造物として現地で保存され、市民共有の財産として未来へ伝えることができます。入館した市民は、江戸時代の商家と宿場の雰囲気を感じたり、地域に伝えられる民俗行事を知ることができ、地域史の学習をするきっかけを得ることができます。				
活動指標2	名称	入館者数		単位	人
	内容説明	入館した人数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	5,800	5,800	5,800
実 績	3,895	4,035	---		
活動指標3	名称	企画展示・事業回数		単位	回
	内容説明	企画展、三館合同企画展、企画事業の回数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	6	6	6
実 績	6	6	---		
課 題	地域に根差した、にぎわいのある資料館として存在できるように、地域の方々にとって利用しやすい施設であることが求められています。				
活動指標4	名称	年中行事展示回数		単位	回
	内容説明	年中行事の展示を実施した回数			
	指標値		3年度	4年度（当該年度）	5年度
		予 定	9	9	9
実 績	9	9	---		

4. 今後の方針等						
今後の方針等	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	年中行事等の展示、各種企画展示、地域や近隣学習施設と連携した広報活動や活用など、利用機会を周知し活用の幅を広げていきます。					

令和4年度 事務事業評価表

16854
一般会計

事務事業名	歴史資料提供・相談事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薫り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	公文書館法(昭和63年6月1日施行)		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了(予定)年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位:千円)				
市民、職員		3年度(決算額)	4年度(決算額)	5年度(予算額)	
	事業費	0	0	0	
	人件費	1,052	1,052	1,083	
目 的	総事業費	1,052	1,052	1,083	
地域歴史・地誌・各種映像記録などについての照会・利用相談に対し回答します。	5年度事業費(予算額)財源内訳				
	国支出金			0	
手段、手法【実施手法:直営】 収集資料や刊行物に基づき回答、又は資料を紹介し、要望に応じてコピー配布をしたり、フィルムなどの貸し出しを行います。	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			0	
	合 計			0	
3. 活動内容					
活動指標1	名称	資料情報提供件数	単位	件	
	内容説明	資料、地図、写真などの貸出および情報提供件数			
	指標値		3年度	4年度(当該年度)	5年度
		予 定	30	30	30
		実 績	32	40	---
活動指標2	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度(当該年度)	5年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標3	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度(当該年度)	5年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		3年度	4年度(当該年度)	5年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	歴史資料に関する問い合わせに対し、迅速に対応することが求められます。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	2年度	I:現状のまま継続	3年度	I:現状のまま継続
	4年度	II:見直しのうえで継続		
収集した歴史情報を必要に応じて提供できるよう整理します。また、問い合わせ内容と回答の情報を集約し、検索しやすくします。				